

大規模産業用地活用・企業立地促進プロジェクト 〔重点成長分野[※]企業の立地促進〕

1 現状と課題

「現 状]

- 重点成長分野の企業に対し、戦略的な企業誘致活動を行い、過去2年間で目標 (20件)を上回る誘致件数(29件)を達成
- 県内の主要産業団地の分譲率が90%を超える中、工場の撤退などによって生じている企業の未利用地を企業誘致活動に活用し、令和元年(2019年)には、宇部市の大規模事業所跡地へ新規企業が進出
- 過去2年間でIT関連企業やサテライトオフィス*12件の誘致を実現

[課題と方向性]

- 県内への企業誘致が進む一方、若者の県外流出は依然として続いており、企業の製造拠点の国内回帰や地方移転等の新たな動きも踏まえて、成長分野を中心とした企業の誘致活動を強化することが必要
- 企業誘致の受け皿となる魅力ある事業用地を確保するとともに、産業集積エリアにおける大規模工場跡地については、充実した産業インフラが存在することから、地域産業の活性化に向けた利活用を促進していくことが必要

2 プロジェクトの概要

大規模工場跡地に係る地元市町や企業等と連携した支援の実施

- ▶ 県庁内サポートチームによる、地元市町や企業ニーズを踏まえた一元的な支援策の検討・調整の実施
- ▶ 県、市町、関係企業等で構成するプロジェクトチームによる、大規模工場跡地の具体的・効果的な活用に向けた関係機関等の連携体制強化と既存の産業インフラを活かした大規模工場跡地の活用方策等の検討

産業集積エリアの活性化や重点成長分野*企業(地域中核企業*等)、IT関連企業やサテライトオフィス*の立地に資する戦略的な誘致活動の展開

- ▶ 東アジアへの近接性や災害が少ないなど、本県の立地環境の優位性や、生産拠点の国内回帰や地方移転、サテライトオフィスの新設などの新たな企業ニーズ等も踏まえた企業誘致活動の展開
- 県独自の支援制度や地域未来投資促進法*等に基づく優遇制度の活用・提案等による 企業の新規立地の促進
- ▶ 県内の未利用地·遊休地の情報収集や企業誘致の受け皿となる新たな事業用地の発掘

「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム*」等による誘致企業への総合サポート

▶ 技術力強化、販路拡大、未来技術*導入に向けた支援等、産学公金連携による企業ニーズに応じた総合サポートを実施



3 工程表

取 組	令和 3 年度(2021 年度)
大規模工場跡地に 係る地元市町や企 業等と連携した支 援の実施	< 県庁内サポートチームや関係機関によるプロジェクトチームの運営> ・ 地元市町や企業等のニーズを踏まえた支援策等を一元的に検討・調整 ・ 大規模工場跡地活用事例の研究、対応策の検討 等
産業集積エリアの 活性化や重点成長 分野*企業(地域中 核企業*等)、IT 関 連企業やサテライト オフィス*の立地に 資する戦略的な誘 致活動の展開	■ 事業用地の発掘・紹介 ・県内の未利用地・遊休地の情報収集や企業誘致の受け皿となる新たな事業用地の発掘等 ●情報発信 ・災害が少ない等、立地環境の優位性等を積極的にPR(知事によるトップセールス、セミナーの開催等) ●誘致活動 ・重点成長分野企業に対する戦略的な誘致活動や新たな企業ニーズ(生産拠点の国内回帰や地方移転)を踏まえた誘致活動の展開 ●設備投資等に対する優遇制度の活用等 ・県独自の支援制度や地域未来投資促進法※等の活用 サエライン・ ・満数活動 ・新たな企業ニーズ(地方移転やサテライトオフィス新設等)を踏まえた誘致活動・新たな企業ニーズ(地方移転やサテライトオフィス新設等)を踏まえた誘致活動・新たな企業ニーズ(地方移転やサテライトオフィス新設等)を踏まえた誘致活動の展開 ●事業所開設等に対する優遇制度の活用等 ・市町と連携した支援制度等の活用(オフィス賃借料や通信費等への支援) ●人材の確保・育成 ・都市部において不足するIT人材育成の展開
「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム [※] 」等による誘致企業への総合サポート	<「地域中核企業創出・支援力ンファレンスチーム」等による支援> ・ 産学公金連携による企業ニーズに応じた総合サポートの実施

4 取組目標(指標)

*************************************	現状値		令和5年(2023年)
指 標 名	数值	基準年/年度	目標値
企業誘致件数	27件	令和元年 (2019 年)	75件/3年